

利レ個 138 号  
平成 27 年 12 月 4 日

様

国立国会図書館関西館

平成 27 年 11 月 28 日に当館で受理したご照会につき、下記のとおり回答します。

なお、当館では個人に対する資料の貸出は行っていません。

複写については、あらかじめ、①当館の所蔵資料であること、②資料中の複写希望箇所、  
がわかっている場合には、郵送にて複写を申し込むことができます。

---

※ 別紙の通り回答します。

お探しの文章と思われる文章は、何応欽 著『何上将抗戦期間軍事報告』文星書店、1962【当館請求記号 392.22-Ka123k】上巻 82 ページに掲載されています。お探しの文章と文字が一部異なるため、念のため、全文を以下に引用します。

#### 4. 南京之失陷

十一月廿六日放棄錫澄線後、即令教導總隊、第三十六師、第八十八師守備南京、旋令第七十四軍、第六十六軍、第八十三軍、第十軍陸續加入。

惟各部隊久經戰鬥、疲憊不堪、自蘇州河撤退至南京、沿途轉戰、未得整頓之餘暇、第十軍亦因新兵太多、戰鬥力不強、自十二月五日在湯山淳化鎮附近激戰後、八日湯山被陷、撤至複廓陣地、敵跟蹤壓迫、雖經各部隊浴血苦戰、終至傷亡過大、十二日雨花台不守、遂下令放棄南京、敵於十三日佔領我南京城。

なお、『思考錯誤』投稿集 2007 年 > [4678]何応欽軍事報告 (<http://www.geocities.jp/yu77799/sikousakugo2.html#11>) と (日本漢字 (新字体) と中国漢字 (繁体字) の差以外で) 文字が異なる部分は次の箇所です。

#### 4. 南京之失陷

十一月廿六日放棄錫澄線後、即令教導連總隊、第三十六師、第八十八師守備南京、旋令第七十四軍、第六十六軍、第八十三軍、第十軍陸續加入。

惟各部隊久經戰鬥、疲憊不堪、自蘇州河撤退至南京、沿途轉戰、未得整頓之余暇、第十軍亦因新兵太多、戰鬥力不強、自十二月五日在湯山淳化鎮附近激戰後、八日湯山被陷、撤至複廓陣地、敵跟蹤壓迫、雖經各部隊浴血苦戰、終至傷亡過大、十二日雨花台不守、遂下令放棄南京、敵於十三日佔領我南京城。